

## お客様へのメッセージ冊子



この冊子は、お客様に向けたセゾン投信のメンバーの思いや、応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等	: セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	: 関東財務局長（金商）第 349 号
加入協会	: 社団法人投資信託協会
お問い合わせ先	: セゾン投信お客様窓口 TEL03 -3988 -8668 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日、年末年始除く)
	<a href="http://www.saison-am.co.jp">http://www.saison-am.co.jp</a>

2008年9月3日

## 長期投資家仲間へのメッセージ VOL.18

### 市場の本質を見極める長期投資家

2008年9月1日

#### **90年代日本の金融危機**

昨年8月の暴落から始まった世界の株式市場低迷は、気が付けば丸一年が経過しました。サブプライムショックと言われる米国発のこのイベントは、残念ながら常に想定を超えた病巣の悪化が次々と顕在化を続ける1年間であり、未だ病状進行を止める処方箋が見出せないというのが実状です。

世間では今回のサブプライムショックと90年代日本のバブル崩壊の相似が指摘されます。それはかつて日本で起こった金融危機の再来が想起されるからなのでしょう。

日本の金融危機はやはり不動産価格の暴落から始まりました。それまで長きに渡った経済成長は不動産価格にリンクし、結果として日本では不動産神話が定着していました。不動産さえ確保していれば大丈夫という担保主義による金融機関の偏在したリスク管理の結果、気が付けば銀行のバランスシートは水脹れした不動産だらけとなっていました。

更には取得原価主義という会計処理が当たり前だった時代、価値の下落を反映させず過大に評価計上された不良債権の処理は、官民が結託しての限りなく粉飾に近い資産を損切りしてバランスシートからはずすという実損処理でした。つまりは金融機関の極端に過大評価されて膨張したバランスシートを縮小させることが、日本経済の800兆円とも言われる巨額不良債権除去の作業だったわけです。

#### **サブプライムショックの損失処理**

対して今回のサブプライムショックの中身はどうでしょうか。サブプライムローンと言われる住宅ローンの市場バブルが弾けて多額の焦げ付きが発生し、それが米国住宅市場全体の下落をもたらした、ここまでは90年代日本の金融危機の類似です。

しかしながらここからの展開はまるで違います。住宅ローンの大半は証券化という手法で既に金融機関のバランスシートから切り離されていました。ところがその金融機関が、証券化されたCDOという証券化商品を再び在庫として或いは投資対象として資産に抱え込んだため住宅ローン価値の毀損が証券化商品全体に波及、結局金融機関は大きく含み損を抱え込むことになったのです。

さて90年代日本と今回の大きな違いは、時価主義という会計処理がスタンダード化していることです。時価会計下では、資産価値が下落するたび価格の洗い替えによって評価損というかたちで損失計上されていく、つまり現物がバランスシートに残ったままで米欧金融機関は損失処理を続けているのです。

かつて日本の金融機関が取得原価主義で無価値の資産を長い間知らぬ顔の半兵衛で過大評価し続けてきた結果としてのツケの実損処理だったのに対し、今回のサブプライムショックでは米欧金融機関は時価主義会計によって市場全体の信用収縮による実態価値以上の極端なマイナス評価を織り込んだ評価損失処理を余儀なくされているのです。

## 正当な市場への回帰

今般、米欧の名だたる金融機関が本来あるべき価値を大きく上回る損失処理を実行したことで、確かに現状は各社ともビジネスモデルの見直し、リストラと青息吐息です。しかしながら、損失発生源となった米国住宅市場の需要がなくなることは決してありません。

現在のように新規供給が激減し在庫が減り始めれば、やがて実需が喚起され取引の回復に伴って市場価格は底入れしてくるでしょう。それにつれ、信用収縮で凍てついた金融市場も再び動き出します。

米国内だけでなく世界中の投資マネーを吸引する底力、米国金融市場はそれだけの懐を持っています。世界の金融取引の過半が米国経由で行われている、それは巨大な市場なのです。すると早晚、下がり過ぎた信用価値は本来価値に向かって回帰を始めます。

必然的に金融機関のバランスシートに残渣のように残った資産の市場価格も同時に戻り始め、今度は戻った分がすべて利益計上されるということです。かように時価会計が徹底して（行き過ぎとも言える程）進んだ現在の金融市場の実態と習性を、私たちは近い将来への蓋然的仮説として冷静に捉えておく必要があるのです。

## 本質を見据え行動する長期投資家

21世紀のグローバル化がもたらした世界的な余剰マネーの増大が、運用の投機化と短期化を劇的に助長しているのは事実です。ヘッジファンドに代表される投資手法は、市場の只今現在しか見ない瞬間運用です。その結果、市場の現在価値は大きく過大評価と過小評価を慌しく繰り返すようになっています。

そうした中でも、短期投機家とは一線を画す長期投資家は冷静に本来あるべき価値を俯瞰し見通すことで、先を見越して行動することが出来るのです。そして長期投資家なればこそ、市場に対し慧眼を持って在れるのです。

今この瞬間の市場の動きに翻弄され逃げ惑いあるいは立ち竦む、多くの短期投機マネーを尻目に、明らかに下がった安い買い物を続けて行けるのが本物の長期投資家であります。

皆様との協働作業で積み上がっているセゾンファンドは、サブプライムショック以降に100億円の資金投入を受けて200億円にまで成長しました。実にファンドの半分の資金は暴落後に肅々と買い進みながら積み上がったものです。

本格的長期保有型ファンドは、こうして勇気と行動を持って将来の運用成果をしっかりと積み上げて行けるのです。

長期投資家仲間の皆様、悠然と本質を見据えてのんびり長期投資の旅を楽しんで参りましょう。

セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野晴啓

## 投資信託業界の発展には個性ある独立系投信会社が必要

有限会社 JOYnt  
代表 鈴木雅光

投資信託業界を取材するようになって、かれこれ 17 年になる。実際にファンドを販売していた時期も含めると 19 年だ。この間、投資信託業界はどのくらい変貌を遂げてきたのだろうか。

公募型投資信託の純資産残高は、89 年 12 月末が 58 兆 6492 億円で、2008 年 7 月が 73 兆 1548 億円。一時は 80 兆円に乗せたこともあったが、バブル崩壊や、国内株価の長期低迷などの影響を受けて、伸びは今ひとつ。

投資信託を購入する投資家のニーズは、かなり拡大した。かつて投資信託といえば、日本株に投資するタイプを指していたものだが、昨今では定期分配型の外債ファンドをはじめ、エマージング市場に投資するタイプやコモディティ・インデックスに連動するタイプなど、人気化するファンドの種類が多岐にわたるようになってきた。

そして、明らかに増えたのが、投資信託会社の数である。何と 75 社。確か 17 年前は 13 社程度だった。

かつて投資信託ビジネスは、証券会社が子会社を使って行う、いわばサイドビジネスのようなものだったが、90 年代半ば以降は外資系や銀行系、保険会社系などが相次いで参入してきた。そして、もっとも注目されるのが、個性ある独立系投資信託会社の参入で、これらの動きが、投資信託会社の数を増やしてきた。

今の投資信託業界は、昨年以降、サブ・プライムローン問題によってマーケットが低迷しているため、伸び悩んでいる。この問題を解決する起爆剤になるのが、個性ある独立系投資信託会社の設立が増えていくことだ。

独立系投資信託会社の先駆けであるさわかみ投信は、日本の投資信託の歴史において、エポックメイキングな存在だと思う。「長期投資」という運用哲学を愚直なまでに貫き、運用するファンドは 1 本だけ。基本的に直販で、広告宣伝は行わず、受益者のコストを最小限に抑える。それでも 2000 億円を超える純資産を維持している。投資信託というジャンルで 17 年間取材活動をしてきたが、このような投資信託会社はまったく存在していなかった。

一方、証券会社系、銀行系など、金融機関系の投資信託会社はどうかといえば、設定・運用されるファンドの本数はどんどん増え、なかには純資産残高が数億円まで減少した繰上償還候補のファンドをたくさん抱えている、運用会社としてどういう運用哲学を貫きたいのかがまったく見えない、そんな投資信託会社が結構ある。

そして、いくら独立系投資信託会社が昨今、徐々に増えてきたといっても、やはり大半は、個性のない金融機関係投資信託会社で占められているというのが、日本の投資信託マーケットの現状だ。これでは、個人の投資信託人気盛り上がりえないのも当然だろう。

だからこそ、私は日本の投資信託市場の発展のために、もっと独立系投資信託会社が増えることを望みたい。それも、特定の運用に強みを持つブティック型の投資信託会社だ。今は金融機関係の投資信託会社に所属しているけれども、仕事には忸怩たる思いがあり、できれば独立して、自分が考えている投資アイデアを世の中に提唱したい。そのアイデアを具現化したファンドを立ち上げてみたい。そう考えている、若いファンドマネージャーもいるはずだ。そういう人たちが次々に世の中に出てくれば、投資信託ビジネスも更に面白くなってくる。

もちろん、そういう環境を造るためには、投資信託会社の参入基準をより引き下げる必要があるだろうし、参入基準の緩和によって想定される、悪意を持った連中の新規参入を水際で食い止められるようにするための仕組みづくりも必要だ。

そして何よりも、さわかみ投信やセゾン投信、ありがとう投信など、すでに活躍している独立系投資信託会社の、なお一層の頑張りこそが、投資信託業界全体を引っ張っていく原動力になるのである。

#### 執筆者プロフィール

鈴木雅光（すずき・まさみつ）

有限会社 JOYnt 代表/金融ジャーナリスト

証券会社、金融専門紙記者などを経て 2004 年有限会社 JOYnt を設立、代表となる。テレビや出版のプロデュースを行うとともに経済・金融関連のライターとして活躍中。主な著書に「投資信託の と×」（宝島社）「闇の金融犯罪」（講談社）その他ウェブマガジン「トレードライフ」編集委員としてサイト運営を手がける。

## セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。

ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりを少しでも感じていただければ幸いです。

### 「総理辞任」

またも首相が辞任しました。総理大臣とは日本のすべての国民の生活と幸せを担う、我が国で最も責任の重いポストであるはずですが、その責を途中で投げ出すなど決してあってはならないことです。とはいえそれがこの1年で2度も起こりました。

私たち生活者が、本気でこの国の進むべき道について考え判断し、そして行動すべき審判の時はもう間もなく到来するでしょう。

私たちが変化を求めたならば、その後には混乱へと進み、やがて収束ののち、自立した新しい社会作りへと確かに歩んで行ける日本を待望しましょう。

中野 晴啓

### 「夏祭り」

これまでほとんど足を運んだことのなかった夏祭りに今年は2度ほど顔を出してみました。1つは家の前の公園で行われた小さな盆踊り大会。よっぽど踊りたそうな顔をしていたのか、何度も一緒に踊りましょうと誘われたものの、なかなか輪の中へ足を踏み入れられず、「これで最後の曲です」の掛け声に勇気を持って輪の中に入って見たところ、見様見真似とはいえ結構楽しい!!ひと夏の貴重な体験をしました。

もう1つは江戸三大祭りの一つ「深川八幡祭り」。今年は3年に一度の本祭りで、氏子各町会の神輿、五十数基が深川の氏子各町を一周する約8キロのコースを練り歩きました。真夏に行われるため、沿道の観客が水を掛けて神輿を清めたり、担ぎ手の体を冷やすことから、水掛け祭りとも言われていますが、まさに水を掛けまくるという表現がぴったり。ある人はバケツで、ある人はホースでコースを練り歩く人達はめがけてバシャバシャという感じです。あいにく前日までの猛暑が嘘のように当日は涼しく、ずぶ濡れになった参加者の方々は随分寒そうでしたが、担ぎ手・観客が一体となって盛り上がる姿には下町のパワーを感じました。自分も水を掛けられる側で参加してみたい、そんな思いを抱かせてくれたお祭りでした。

お祭り以外にも、今年は大好きな花火を4つも見ることができて大満足。いつもと一味違う「夏」を満喫できました。今年は8月後半から急に涼しくなり、夏の余韻を楽しむ暇もない感じですが、果たしてこのまま夏は終わってしまうのでしょうか？

佐藤 恭子

### 「かものはしプロジェクト」

8月23、24日倉敷、岡山のセミナーに行ってきました。そこで出会った「NPO法人 かものはしプロジェクト」の村田さん。IT事業を通じて得たお金でカンボジアの社会問題に取り組んでいる団体の代表です。彼女は大学生のときカンボジアの児童買春の問題に直面し、自分の人生をかけてもその少女たちのために何かしなければと思ったそうです。彼女とたわいもない会話をしているときは同世代の女性を感じるのですが、大勢の人の前で講演をしている時、帰りの新幹線でカンボジアのことを教えてくれた時の彼女は力強く、パワーのある本当に素敵な女性でした。

思っただけに終わらず、自ら行動し、信頼できる仲間とともに「かものはしプロジェクト」をここまで大きくさせた村田さん。私の日常では出会うことのなかったであろう彼女との出会いは衝撃であり、同世代の活躍を目の当たりにし、いろいろ考えるよい機会になりました。

<かものはしプロジェクト> [http://www.kamonohashi\\_project.net/](http://www.kamonohashi_project.net/)

畑中 由美子

### 「偉大なる挑戦」

スポーツは人々のところに何かを刻み込みます。それは、スポーツが他人との戦いであるのみならず、自分との戦いであるからだと思います。このことをより印象深く、考えさせられたシーンがありました。それは、7月に行われた、「第137回全英オープンゴルフ」でした。

正式名称が「*The Open Championship*」という、全英やゴルフという表現が含まれない、ゴルフの4大メジャートーナメントの中で最も歴史のある大会です。53歳のグレック・ノーマンがメジャー史上、最年長優勝記録を達成するかが話題となりましたが、そこには一人のスポーツ選手として、また人間としての偉大なる挑戦がありました。

優勝スコアが3オーバーからもわかるように、難コースで、しかも強風、低い気温、コンディションが非常に厳しいなかで挑んだ彼の戦いの姿は、過去に一時代を築き栄光を極めてもいまだ衰えない、ゴルフに対し挑戦し続ける姿でした。それは、限界を設定せず、いつまでも自分自身と戦い続ける姿でもありました。

結果は3位でしたが、大会3日目を終わって首位、最終日に最終組でプレーしたノーマンの姿は、最年長優勝記録の話題を超越し、人々のところに深く刻み込まれるものとなりました。彼の姿は、「偉大なる挑戦」と人々から称賛されたのです。

主役タイガー・ウッズが不在のなかで、この物語が生まれたことは、「*The Open Championship*」がまさに、数々の伝説を生み出してきた、最も歴史のあるメジャートーナメントであることの証でもありました。

神尾 寧

## セミナー情報

### 自分にあった投資スタイルを見つけるマネー講座【埼玉・所沢】

2008年9月15日(月・祝) 13:30~16:30(開場:13:00)

会場:所沢西武8階=ワルツホール(住所:埼玉県所沢市日吉町12-1)

定員:150名(先着順)

費用:無料

<プログラム>

第1部 講演

タイトル:世の中の一步先をいく長期投資家

講師:中野晴啓(セゾン投信社長)

タイトル:自分の意思をお金に託そう~カッコいいお金の使い方~

講師:澤上篤人氏(さわかみ投信株式会社 代表取締役)

第2部 パネルディスカッション・質疑応答

テーマ:自分にあった投資スタイルを見つけよう

出演者:澤上篤人氏(同上) 仲木威雄氏(さわかみ投信株式会社 執行役員)、中野晴啓(同上)

### 「ほったらかしのススメ」~時間もお金も限られているけど資産形成はできる~【東京・秋葉原】

2008年9月20日(土) 14:00~17:00(開場:13:30)

会場:UDXカンファレンス TYPE350(住所:東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX南ウイング6F)

定員:130名(先着順)

費用:無料

<プログラム>

第1部 講演

「投資は、ほったらかすほど上手いく」 中桐啓貴氏(ファイナンシャル・プランナー)

「急がないでゆったりと経済の波に乗ろう」中野晴啓(セゾン投信社長)

「シンプルで有効な投資法」 加藤隆氏(バンガード・グループ 駐日代表)

第2部 パネルディスカッション・質疑応答

テーマ:ほったらかしのススメ

出演者:中桐啓貴氏(同上) 加藤隆氏(同上)、中野晴啓(同上)

### セゾン投信が運用する商品について【オンラインセミナー】

2008年9月25日(木) 20:00~20:45

講師:当社運用部長

定員:50名(先着順)

費用:無料

受講方法:セゾン投信ホームページよりお申込みください。

(お電話でのお申込みはできませんのであらかじめご了承ください。)

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)



## <セゾン投信役職員が講師として参加予定のセミナー>

世界をよりよくするために私たちの出来ること～お金の流れを変えて地方を元気に～【鳥取・米子/鳥取】

日時	場所	人数	費用
9月27日(土) 13:30～16:30	【米子】ふれあいの里 中会議室 (住所:米子市錦町1丁目139-3)	100名 先着順	500円
9月28日(日) 13:30～16:30	【鳥取】県民ふれあい会館 大研修室 (住所:鳥取市扇町2番地)	60名 先着順	500円

### プログラム

#### 【第一部】『ファンドを通じて世の中をもっとおもしろく』

講師:猪尾愛隆氏(ミュージック・セキュリティーズ株式会社取締役)

講師:影山知明氏(ウィルキャピタル株式会社取締役)

#### 【第二部】『お金の流れを変えて地方を元気に』

独立系投信会社の代表が『長期投資』で経済的な自立を果たすための具体的な方法と、社会や地域に様々な余剰をお返しする意味について熱く語ります。

講師:西生智久氏(楽知ん投信株式会社代表取締役) 森本新児氏(かいたく投信株式会社代表取締役)

中野晴啓(セゾン投信社長)

モデレーター:甲賀健氏(さわかみ投信株式会社社員)

詳しくは当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

### ご留意事項

上記セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬等の諸経費がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## セゾン投信からのお知らせ

### 電子交付をご選択いただいているお客様へ

#### 取引報告書・取引残高報告書閲覧のお願い

投資信託のご購入、ご解約のお取引の都度に取引報告書、3ヶ月ごと( )に取引残高報告書が作成されます。電子交付をご選択いただいているお客様はセゾン投信ネット取引にログインしていただき、ご覧いただけますようお願いいたします。

期間中にお取引があったお客様および投資信託の残高があり前回作成時から1年間お取引がなかったお客様のみ作成されます。

### 取引残高報告書の交付について

9月上旬に取引残高報告書を交付いたしますのでご確認ください。

#### 交付対象となるお客様

2008年6月から8月の間にお取引があったお客様

2007年6月から8月の間にお取引があり、その後1年間お取引が1度もなかったお客様

(2008年8月末現在で投資信託の残高があるお客様に限ります。)

電子交付のお客様:9月4日午前よりご覧いただけます。セゾン投信ネット取引にログインいただきご覧ください。

書面交付のお客様:9月11日に発送

## お客様のご登録情報ご確認のお願い

お客様のご登録のご住所等のご変更があった場合は当社までご変更のお届けをいただきますようお願いいたします。

お名前、ご住所および振込先指定口座等の変更は「諸変更届」をご提出いただく必要がございます。諸変更届は以下のいずれかの方法でご請求ください。

セゾン投信ネット取引にログインし書類請求していただく方法

「ログイン」「口座管理」「登録情報一覧・書類請求」「各種書類請求」へ進み「各種ご変更届」をご請求ください。

【お急ぎの場合】お客様ご自身で印刷していただく方法

「セゾン投信トップページ」「ご利用の手引き・各種変更のご案内」「各種変更届」へ進み、「お名前・ご住所・お電話番号・お振込先指定金融機関のご変更届(PDFファイル)」をクリックし印刷することができます。

お電話でご請求いただく方法

下記お客様窓口までご連絡ください。

## 「ご利用の手引き」を改訂いたしました

この度、お口座開設時にお客様にお送りしております「ご利用の手引き」を改訂いたしました。当社でのお取引方法、目論見書の閲覧方法、各種変更方法等を記載した小冊子になります。ご希望のお客様は当社お客様窓口までお問合せください。

<お問合せ先> セゾン投信お客様窓口

TEL: 03 - 3988 - 8668 (9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

## 買付・解約 受付不可日のお知らせ(2008年9月3日~11月末日)

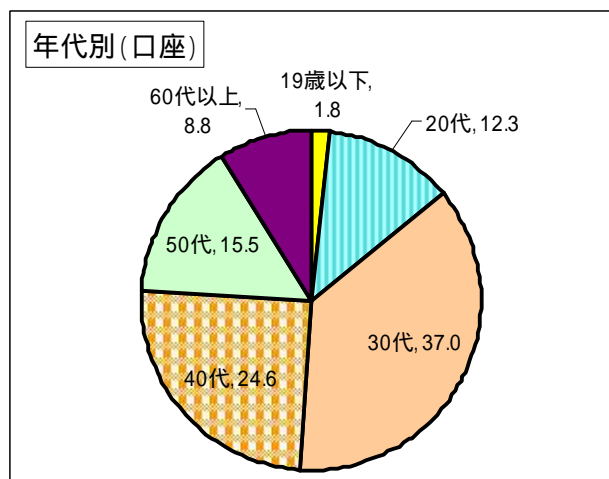
下記は2008年9月3日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

下記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、下記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	10/27(月) 11/11(火) 11/27(木)
セゾン資産形成の達人ファンド	10/27(月) 11/11(火) 11/27(木)

## セゾン投信 会員数 (2008年8月末日)

30,061 口座



TOPICS:

おかげさまで、口座を開設いただいている方が3万名を超えました！  
運用資産総額が200億円を突破したのとほぼ同時期の営業を開始してから約1年5ヵ月での達成となりました。  
今後もお客様と共に成長を続けていく企業であり続けるために努力してまいります。

法人口座データ除く

## 当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### <セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%（概算）となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### <セゾン資産形成の達人ファンド>

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。